

# 地元開催の全国建具フェア 大川の匠の技で来場者を魅了

大川は最高賞の内閣総理大臣賞をはじめ  
30点が入賞！期間中の入場者は3万人



7月6日～8日の3日間、全国建具フェア福岡大会が福岡国際センター(福岡市博多区)で開催されました。

この大会は、全国の建具事業者が技術を駆使した作品を発表し、技術の向上を目指すとともに、一般消費者へのPRの場として開催されるものです。毎年、各県持ち回りで開催され、福岡での開催は、41年ぶりのことでした。

これまでの大会は、内輪で作品を披露しあうだけのものでしたが、今回は新しい試みとして消費者にアピールする



1. 内閣総理大臣賞  
「壁面組子『昇開橋』」  
角建具製作所
2. 経済産業大臣賞  
「Japanese『南天の実』」  
石橋建具製作所
3. 文部科学大臣賞  
「組子人間仕切戸」渡辺建具
4. ニューデザイン展示会作品
5. 植木市長への受賞報告  
(下)左から角さん、石橋さん、渡辺さん

ニューデザイン展示会が行われ、「ニューデザイン」「低価格」「流通性」という新しい視点で開発された建具も展示されました。

作品の技を競う第46回全国建具展示会には、全国から133点が出品され、大川市からは30点が入賞しました。審査評で「いずれも甲乙つけがたく、あまりのすばらしさに感動して涙がでました」と審査員長が語るほどの技術の高さでした。

また今回、大川建具事業協同組合は事務局として大会運営を担い「大川がなければ開催できなかった大会」と全国建具組合連合会役員に称賛されるなど、大川の建具業界の実力が認められました。

## 主な受賞作品

内閣総理大臣賞  
「壁面組子『昇開橋』」角建具製作所(鬼古賀)写真1  
伝統技術を用いた建具部門(1部)で最高賞を受賞。デザイン・アイデア・実用性の全において優れた作品と評価されました。大河筑後川の風景を十数パターンの組子、約12万個のパーツで描いたもの

です。  
経済産業大臣賞  
「Japanese『南天の実』」石橋建具製作所(三丸)写真2  
実用性、機能性、流通性を備えた建具部門(2部)で最高賞を受賞。南天の実の図柄を透かし彫りであしらい、全体に上品に仕上げられています。大会の運営に携わった石橋氏は、「受賞もうれしいが、大会が無事に済んだことの方が、うれしい」と話します。

文部科学大臣賞  
「組子人間仕切戸」渡辺建具(小保)写真3  
2年がかりで制作されたもので、見る角度によって立体的に見えるよう工夫されています。渡辺氏は全国建具展示会で昭和58年(当時24歳)と60年に内閣総理大臣賞を受賞。一般に建具店固有の特色があり、同業者にはどの作品かわかりませんが、渡辺さんの作品は、毎回違うデザインで同業者にもわからないそうです。

これらの作品をはじめ受賞作が10月6日から大川木工まつりで展示されます。ぜひ大川の匠の技を見てください。

# 台湾の呉鳳科技大学の学生4人 大川で職場体験



## 嘉義市

位置 台湾西南部に位置し、市内を北回帰線が通過  
面積 面積約60㎢(大川市のおよそ2倍)  
人口 27万人  
気候 年平均気温23.3℃、気候は温暖で過ごしやすい  
嘉義市は歴史が古く、台湾の公式贈答品として用いられている「交趾(コーチ)陶」の発祥地でもあり、「画の都」と呼ばれ芸術文化が盛んです。

## 呉鳳科技大学

呉鳳科技大学は、台湾の嘉義市にあります。一九六三年に「呉鳳商業専科学校」として開校後、二〇一〇年に「呉鳳科技大学」として発展した大学です。学生数は約八千人で、工学、商学管理、人文社会などの学部があります。

## 大川市との交流

呉鳳科技大学は久留米大学と交流があり、久留米大学での短期日本語研修を大川市のふれあいの家で受け入れたことから呉鳳科技大学と大川市の交流が始まり、応用日本語学科の夏休みを利用したインターンシップ(職場体験)を大川市で受け入れてきました。



## 大川の思い出

留学生の受け入れは今年で3回目になり、7月22日から8月31日までの日程で、4人の学生が市立図書館、学童保育、市役所などで職場体験をしました。

4人は市内の家庭にホームステイし、花火大会や風浪宮の祭に参加するなど日本の習慣や文化を学びました。

みなさんは情熱的でやさしくて、さまざまなことを教えてくれました。仕事以外にも花火大会とか参加し、日本の素敵な所をたっぷり経験しました。私は大川に来て、本当によかったですと思います。沢山の人の出会い、沢山のことを経験しました。みなさん、ありがとうございます。(謝涵宇)

いろいろな仕事と人と出会う。仕事を学ぶ、たくさんの人



1. 初めてのそうめん流し
2. 市民夏まつりで盆踊り
3. 風浪宮の夏越祭  
(左から張廣文さん、唐儀如さん、王琳惠さん、謝涵宇さん)
4. 植木市長への表敬訪問
5. 手まり作り体験



と話す、それはとても楽しい事です。今は、それぞれの大事な思い出をカメラに保存して、守る。なぜなら初めてのインターンシップです。その縁を大切にしたいです。(張廣文)

最初、ずっと緊張していた自分は、いつもうまく話せなかつたんです。でも、みんながとても親切で、緊張していた気持ちにはだんだんなくなりました。ホームステイ先のご家族には、心から感謝しております。まるで自分の娘として守ってくれているようで、すごく感動でした。台湾に帰る前に、私

は大分泣くかもしれない。ただここにいたいって...大川市のみなさんへ、本当にありがとうございます。もう一度、会いましょう！(唐儀如)

ホームステイ先は父と母が多いです。みんなやさしくしてくれました。大川のみなさん、お世話になりました。もし来年、チャンスがあったら、ぜひ来ます。誠にありがとうございます。(王琳惠)